

平成24年度第1回知床世界自然遺産地域科学委員会
河川工作物アドバイザー会議

サケ科魚類遡上状況 モニタリング調査について

平成24年10月24日 北海道環境生活部

1

モニタリング実施期間

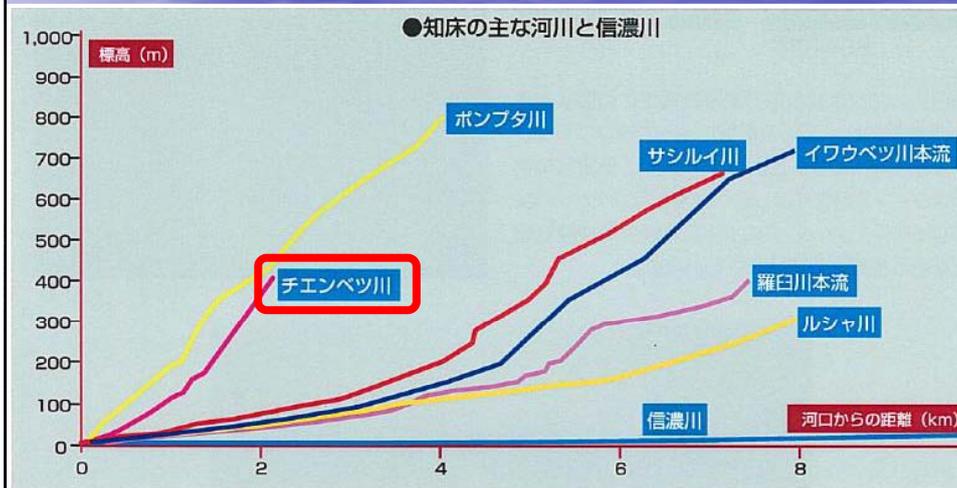
改良した河川工作物1基につき
改良前(改良当年)+改良後3年間

河川名	工期	モニタリング期間
ルシャ川	H18(2006)	H19(2007)～ H21(2009)
サシルイ川	H19(2007)	H20(2008)～ H22(2010)
チエンベツ川	H20(2008)～ H21(2009)	H21(2009)～ H24(2012)

2

調査対象河川：チエンベツ川

～河床勾配の比較～



●出典：「生活を守りサケを育むダムへの挑戦」(林野庁北海道森林管理局 H20発行)

3

調査対象河川：チエンベツ川

●改良方法

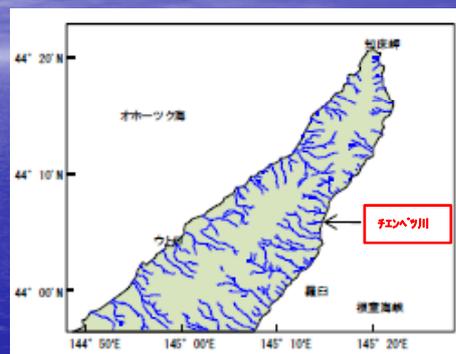
H20年度 No.1ダム
(2008)

H21年度 No.2ダム
(2009)

魚道設置

●モニタリング

- ・1基目改良後(H21 (2009) 年度)から調査を開始
- ・今年で4年目



4

調査方法 1 (チエンベツ川)

- ・調査期間:H24 (2012) 年8月
~H25 (2013) 年1月
(およそ10日間隔で14回)
- ・調査員数:2~3名
- ・調査方法:改良した河川工作物の上・下流において産卵床数と親魚の生体数をカウント。各調査員のカウント数の差が大きい場合は、再計数。
産卵床は、河床の起伏や砂礫から判断し、計数。

5

調査方法 2 (チエンベツ川)

- ・河口付近に0点起点、100m間隔で調査



No. 1 治山ダムの魚道設置状況

H20(2008)年度改良



No. 2 治山ダムの魚道設置状況



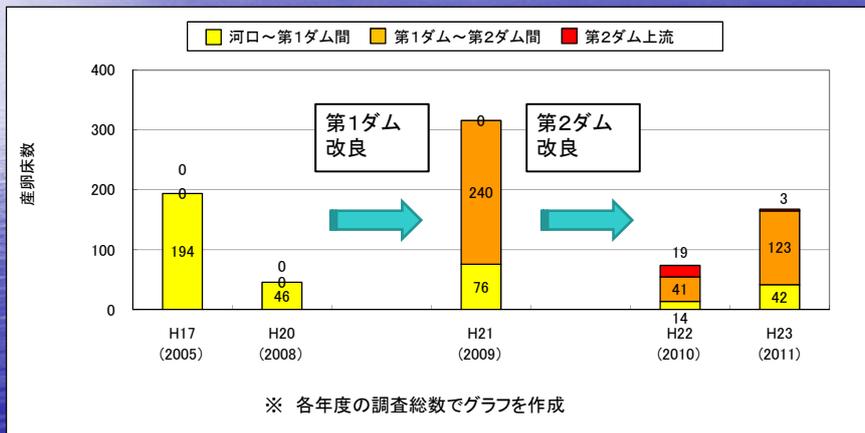
改良前

H21(2009)年度改良



これまでの検証結果①

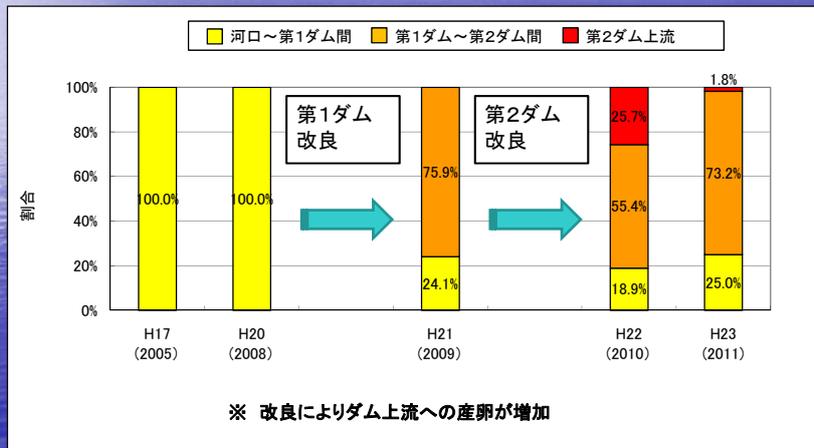
●産卵床数の変化（カラフトマス）



9

これまでの検証結果②

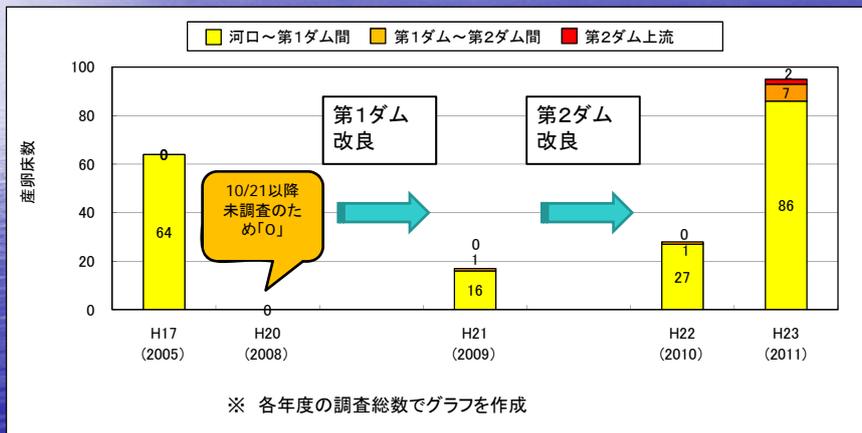
●産卵床の分布割合（カラフトマス）



10

これまでの検証結果③

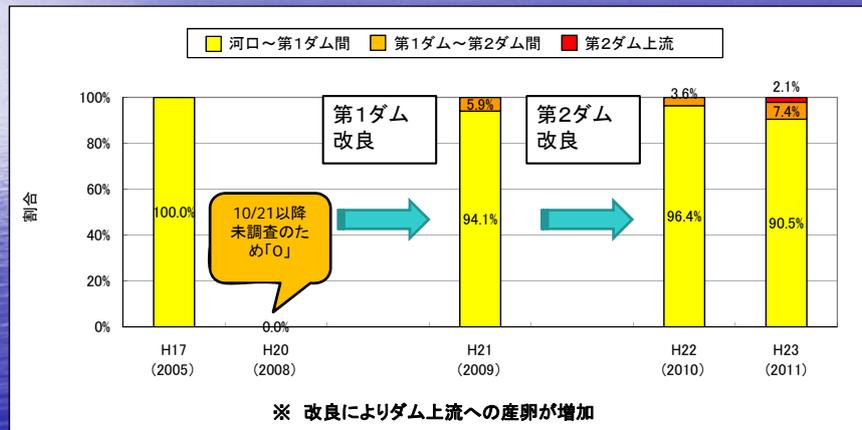
●産卵床数の変化（シロザケ）



11

これまでの検証結果④

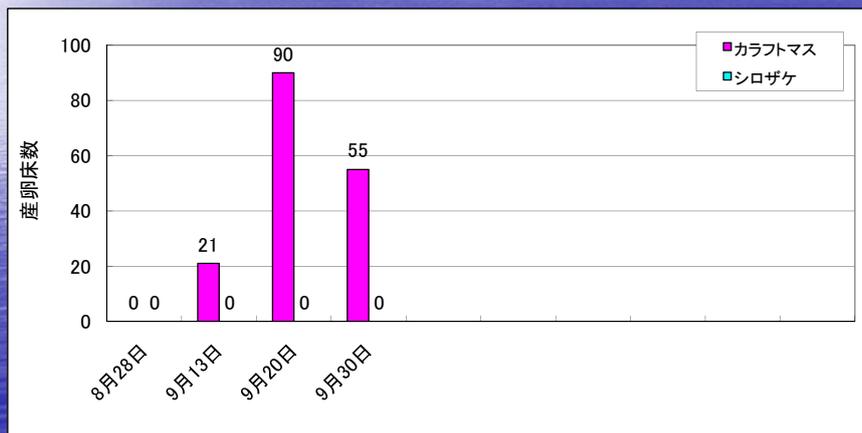
●産卵床の分布割合（シロザケ）



12

今年度の調査状況①

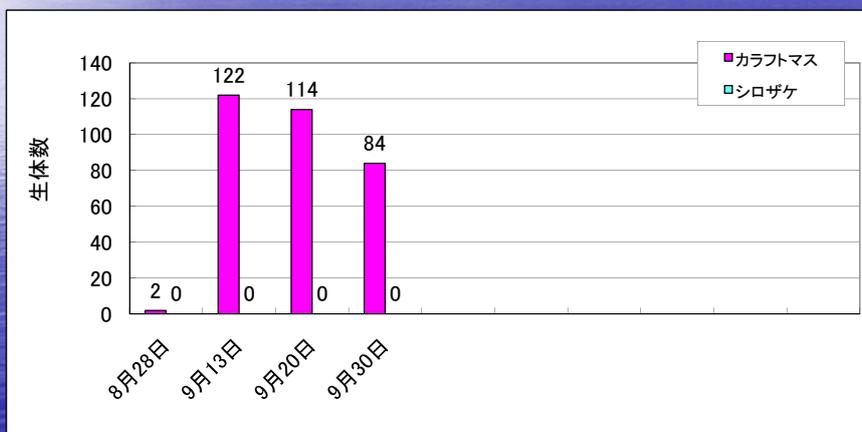
●H24(2012)年度産卵床確認時期(8月～9月)



13

今年度の調査状況②

●H24(2012)年度生体数確認時期(8月～9月)



14

最後に (チエンベツ川)

- ・今年度の調査で、改良効果の確認は終了。
- ・過去の調査を含め、次回河川工作物APにおいて検証結果を報告する。